

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<研究課題名> 新生児病棟 (NICU・GCU) における予防接種実施状況に関する調査研究
<研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 小児・新生児病科 (研究責任者) 清宮 綾子
<研究期間> 承認日 ~ 西暦 2019年 3月 31日
<研究の目的と意義> 新生児病棟 (NICU・GCU) (以下、新生児病棟) に入院している赤ちゃんにどのように予防接種を行うかについては、日本新生児感染対策研究会 HP (http://plaza.umin.ac.jp/~nippon/dl/index.html) に掲載のある「NICU における医療関連感染予防のためのハンドブック第1版」(2011年3月発行) に示されているところです。 このハンドブックが発表されてから、6年が経過しましたが、これまで新生児病棟に入院している赤ちゃんに具体的にどのように予防接種が行われているかについて、全国的な調査は行われていません。 新生児病棟に入院している赤ちゃんへの予防接種の考え方は各施設によって異なることが推察されるところです。本調査をおこなうことで、当該ハンドブックがどの程度普及されているのか、また、我が国では新生児病棟に入院している赤ちゃんへの予防接種がどのように行われているのか等の現状を明らかにし、ハンドブックに沿った接種が進んでいないのであれば、その原因と接種を推進するための方策を考えていくことを目的としています。
<利用する試料・情報の項目> 診療記録、入院台帳など
<対象となる患者さん> 2015年1月1日から2016年12月31日の期間に出生し、東京都新生児医療協議会加盟施設(総合周産期センター13施設、地域周産期センター:15施設、周産期連携病院:9施設)の計37施設)の新生児病棟 (NICU・GCU) に2か月以上入院した赤ちゃん
<研究の方法> 調査票を用いて、新生児病棟 (NICU・GCU) では、予防接種がどのように行われているかについて、調査を行います。 予防接種が行われていた施設については、調査票を用いて、接種した際の赤ちゃんの状況について、個別に調査を行います。 なお、今回得られた情報を他の研究において再度利用する際には、再度倫理審査委員会の承認を得ることとします。
<外部への試料・情報の提供等> 協力医療機関からは、FAX または電子的配信にて回答を送付してもらいます。

<研究組織>

東京都新生児医療協議会加盟施設(総合周産期センター:13 施設、地域周産期センター:15 施設、周産期連携病院:9施設)の計 37 施設

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

小児・新生児病科 氏名:清宮 綾子

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2442 (PHS)8007

日本大学医学部附属板橋病院(ver.1705)